

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年2月17日

事業所名 POCGOかいりゅうおう

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			活動に合わせて机の配置を変更するなどして必要なスペースを確保している	備品等の収納方法を工夫し、限られたスペースを有効に活用できるようにしていく
	2	職員の配置数は適切である	6			法令に基づいた職員配置を行っている	利用者数と配置人数の確認を行い、適切な配置人数で支援を行っていく
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	1	トイレの床にクッションシートを敷いてフラットで使いやすいようにしている	若干の段差がある箇所があるが、現状の利用者に対しては問題はないため、必要に応じて改善していく
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			活動のねらいの確認や振り返りを職員で行い、次の目標設定や活動内容の工夫につなげている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			評価結果をもとに、改善目標などの検討会議を実施している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			毎年評価を行い、ホームページで公開している	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			6		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			社内研修が充実しているため、積極的に参加している	外部研修にも積極的に参加していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	2		モニタリングや関係者会議に出席し、保護者のニーズや課題の把握に努めている	子どものニーズを計画や活動に反映できるように、アンケート箱を設置するなどの工夫をしていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			S-M社会生活能力検査などを使用している	S-M社会生活能力検査やWISC検査の結果を個別支援計画を立てるために活用していく
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			職員間でアイデアを出し合ったり、相談をしながら活動プログラムの立案を行っている	プログラム検討の時間を充実させていく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			活動後の振り返りを行い、同一テーマのプログラムであっても、課題やねらいに沿って内容を変化させている	保護者にも活動の内容やねらいをわかりやすく伝えていく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			滞在時間や利用者の状況に応じて課題設定を行い活動プログラムを立案している	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			利用者の状況を考慮して活動内容の組み合わせを工夫している	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			役割分担について確認し、安全面にも配慮しながら支援を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有している	6			気づいた点等を共有し、次の活動や支援内容に繋げるようにしている	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			HUGを活用し、ケア記録に日々の支援の様子を記録している	支援計画に対する評価も日々の支援の中で行い、モニタリングなど定期的な計画の見直しにつなげていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			目標や課題に対しての評価を複数の職員で行い、見直しの必要性や支援の方向性の確認をしている	モニタリングや担当者会議を行い、計画の見直しや支援内容の共有・理解につなげていく
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	6			複数の内容を活動に盛り込みながら支援を行っている	地域との交流ができる活動を行っていく

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			児童発達管理責任者が出席している。可能な場合は担当の指導員も同席するようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	2		学校により多少の差はあるが、連携を取りながら送迎や支援を行っている	会議だけでなく送迎時にも学校の先生方とコミュニケーションをとるよう心掛け、利用者の状況把握に努めていく
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	3	3		通院の状況やリハビリでの様子などを保護者から連絡していただいている	現在該当者がいないが、必要に応じて体制を整えていく
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3		相談支援事業所等からの情報提供を受け、活用している	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4		今年度、該当者がいるため、相談支援員とも連携を取りながらスムーズに移行できるように情報提供を行っている	該当者がいる場合には、情報提供を行いスムーズな移行ができるように努めていく
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	2	研修などの情報を把握し、積極的に参加できるようにしている	直接的な連携は現状ではなかなかできていないが、連携を深めていきたい
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		3	3	児童館との交流は図れていないが、公園などの野外活動の中で障害のない子どもと交流することもできている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6			定例会には可能な限り参加している。指導員の交流会が開催されることになったため、そちらも参加を予定している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	2		送迎時を利用するなどして、日頃からコミュニケーションをとることを心掛け、話しやすい関係性を作るよう努めている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	2		個別相談会や講演会を開催し、参加を促している	必要に応じて個別相談会への参加を促せるよう、引き続き、保護者の悩みや困り感の把握に努めていく	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			契約時や時に応じて説明を行っている	保護者に対して契約時に丁寧な説明を行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	2		研修などに参加したり、個別相談会への立ち合いを行い、相談支援力の向上に努めている	保護者からの相談があった場合には、丁寧に対応するとともに、個別相談会への参加を促したり、職員間で情報を共有し、共通理解をもって支援できるようにする
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	2	4		保護者も参加できるような活動を計画し、事業所と保護者だけでなく保護者同士の連携も深められるように支援していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			苦情受付箱を設置したり、苦情受付担当者を決めて対応している。	苦情があった場合には迅速かつ適切な対応ができるよう努めていく
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6			SNSなどを活用しながら情報発信を行っている	SNSの情報発信の効果が感じられている。定期的にフレッシュな情報発信ができるように心がけていく
	35	個人情報に十分注意している	6			個人情報の取り扱いには十分に注意している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			必要に応じて伝達方法を変えるなど、個別に対応している	子どもの特性を理解し、相手にわかりやすい言葉や方法で情報を伝えられるようにする
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている			6		地域との交流ができる活動を検討し、小さなことからでも地域との交流が図れるような活動を行っている	

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	2		各種マニュアルを策定し、いつでも見ることのできる場所にファイルを配置している。保護者には契約時に説明をしている。	訓練時など定期的にマニュアルの確認を行い、緊急時などの対応が迅速にできるように備えておく
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			定期的に訓練ができるように計画を立てて行っている	定期的に訓練が実施できるよう計画を立て、確実に実施していく。実施状況を保護者にも周知していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6			毎年研修を受講し、虐待や身体拘束についての共通理解をもって支援にあたっている	研修への参加の他、事業所内でも定期的に確認を行っていく
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6			契約時に保護者に説明をし、同意書をもっている。身体拘束の事案が発生した場合には、保護者に丁寧に説明を行い、記録に残している。	身体拘束が必要と思われる児童については、保護者に説明を行い、個別支援支援計画にも記載しておく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6			対象児童については、おやつ提供時や調理活動の際にダブルチェックを行っている。調理活動の際には、保護者にも確認をいただいている。	対象児童については、検査結果や指示書にもとづいて対応していく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6			事業所内での情報共有だけでなく、他事業所の事例も参考にしながら事故防止に努めている	ヒヤリハット事例の振り返りや情報共有を行い、事故防止に努めていく